

# 知 事 謹 話

秋篠宮皇嗣同妃両殿下をお迎えするにあたって

秋篠宮皇嗣同妃両殿下におかれましては、6月1日に和歌山市の和歌山城ホール及び和歌山城公園で開催する第35回全国「みどりの愛護」のつどいへの御臨席、併せて地方事情御視察のため、来る5月31日（金）から6月1日（土）までの2日間の御予定で、本県にお成りになることが、本日宮内庁より発表されました。

両殿下お揃いでの御来県は、平成29年12月に御旅行で御来県いただいて以来、7年ぶりであり、公的な行事のため両殿下お揃いで御来県いただくのは、平成27年10月の第70回国民体育大会以来です。

なお、令和3年に開催した第45回全国高等学校総合文化祭では、コロナ禍のため、オンラインで総合開会式の御視聴、並びにオンライン・ビジットにて、関係者と御交流いただいたところですが、秋篠宮殿下が皇嗣となられてからは、初めての御来県となります。

全国「みどりの愛護」のつどいは、「みどりの日」制定の趣旨を踏まえ、我が国の貴重な緑を守り、育て、親しむとともに、その恵みに感謝し、豊かな心を育むことを願い、平成2年から開催されており、和歌山県では初めて開催されます。

このつどいに、両殿下の御臨席を賜りますことは、誠に光栄であり、日頃から地域の緑化を通じて、美しいまちづくりに取り組んでいただいている皆様の大きな励みになるものと考えています。

また、地方事情御視察においては、和歌山県立南紀はまゆう支援学校、稲むらの火の館、有田川町清水文化センター、あらぎ島などを御訪問いただき、親しくふれあいを深めていただきますことは、関係者はもとより県民にとりましても大きな喜びであります。

この度の御来県を県民の皆様とともに心から歓迎申し上げます。

令和6年5月10日

和歌山県知事 岸 本 周 平